

国語 ことわざプリント③

年 組 番 氏名 ()

問 次の()にあてはまる言葉を書きなさい。

- ① () 先に立たず…後になって悔やんでもおそい。
- ② () に入っては()に従え…その土地に行ったら、その風習に従うのがいちばんいい。
- ③ () は筆を選ばず…名人は、道具や材料のよい悪いに文句を言わず、うまくやりこなす。
- ④ 転ばぬ先の() …失敗しないように、前もって十分な準備をしておくことが大切だ。
- ⑤ () 人を待たず…年月は人にかまわず速く流れ去る。
- ⑥ () 計逃げるに如かず…逃げるべき時には逃げて身の安全を図るのがよい。
- ⑦ 三人寄れば()の知恵…みんなで集まって考えれば、すぐれた知恵も出てくる。
- ⑧ 事実は()よりも奇なり
…実際に起きる出来事は、○○の中身以上に不思議なことがよくある。
- ⑨ 親しき中にも()あり…どんなに親しい間柄でも、○○は守らなければならない。
- ⑩ ()に説法…知り尽くしている人に不必要なことを説く。
- ⑪ ()に交われば赤くなる…人はつきあう友達によって、良くも悪くもなる。
- ⑫ 知らぬが()…知らないから、平気でいられる。
- ⑬ 好きこそ物の()なれ…好きであることが上達の重要な条件である。
- ⑭ 住めば()…慣れればどんな土地も住みやすくなる。
- ⑮ ()に()は代えられぬ…大切な事のためには、他の事を犠牲にするのもやむをえない。
- ⑯ ()は急げ…良い事をする時はためらうな。
- ⑰ 袖すりあうも()の縁
…道で知らない人と袖が触れ合うようなちよつとした関係でも、前世からの因縁があるから起こるのだ。
- ⑱ ()あれば憂いなし…普段から十分に準備をしておけば、いざという時に心配がない。
- ⑲ ()の持ち腐れ…役に立つ物や才能がありながら、それを活用しない。
- ⑳ ()後を濁さず…後始末をきちんとして立ち去る。

国語 ことわざプリント③【解答】

年 組 番 氏名 ()

問 次の () にあてはまる言葉を書きなさい。

- ① (後悔) 先に立たず…後になって悔やんでもおそい。
- ② (郷) に入つては (郷) に従え…その土地に行ったら、その風習に従うのがいちばんいい。
- ③ (弘法) は筆を選ばず…名人は、道具や材料のよい悪いに文句を言わず、うまくやりこなす。
- ④ 転ばぬ先の (杖) つえ …失敗しないように、前もって十分な準備をしておくことが大切だ。
- ⑤ (歳月) 人を待たず…年月は人にかまわず速く流れ去る。
- ⑥ (三十六) 計逃げるに如かず…逃げるべき時には逃げて身の安全を図るのがよい。
- ⑦ 三人寄れば (文殊) の知恵…みんなで集まって考えれば、すぐれた知恵も出てくる。
- ⑧ 事実は (小説) よりも奇なり
…実際に起きる出来事は、〇〇の中以上に不思議なことがよくある。
- ⑨ 親しき中にも (礼儀) あり…どんなに親しい間柄でも、〇〇は守らなければならない。
- ⑩ (釈迦) に説法…知り尽くしている人に不必要なことを説く。
- ⑪ (朱) に交われれば赤くなる…人はつきあう友達によって、良くも悪くもなる。
- ⑫ 知らぬが (仏) …知らないから、平気でいられる。
- ⑬ 好きこそ物の (上手) なれ…好きであることが上達の重要な条件である。
- ⑭ 住めば (都) …慣れればどんな土地も住みやすくなる。
- ⑮ (背) に (腹) は代えられぬ…大切な事のためには、他の事を犠牲にするのもやむをえない。
- ⑯ (善) は急げ…良い事をする時はためらうな。
- ⑰ 袖すりあうも (他生 (多生)) の縁
…道で知らない人と袖が触れ合うようなちよつとした関係でも、前世からの因縁があるから起こるのだ。
- ⑱ (備え) あれば憂いなし…普段から十分に準備をしておけば、いざという時に心配がない。
- ⑲ (宝) の持ち腐れ…役に立つ物や才能がありながら、それを活用しない。
- ⑳ (立つ鳥) 後を濁さず…後始末をきちんとして立ち去る。